

会議概要録

開催概要

名称：第6回 東区自治協議会 第1部会

日時：平成21年12月11日（金） 午前10時00分～午前11時45分

場所：東区役所分館 会議室

出席者：委員

木島委員，岩橋委員，鈴木委員，田村委員，田中委員，村山委員，山田委員，海津委員，田畑委員，橋本委員

：事務局

地域課長，総務課安心安全係長，地域課企画係職員

審議内容

これまで部会で議論してきた「自主防災組織の結成率向上と活動の活性化」に対する今後の行政の対応について確認しました。

Q：災害時行動マニュアルを行政として、いつまでに策定する予定なのか。

A：災害時行動マニュアルについては、H22年度の「安心安全な区づくり事業」の一環としてマニュアル整備を予定している。各コミ協に声をかけて「防災防犯検討会」を既に立ち上げている。同検討会と同幹事会に諮りながらマニュアルを策定していきたい。

Q：自主防災組織が未結成の自治会に対して、行政としていつ、どのような方法でアプローチしていくのか。

A：これまでコミ協を通じて未結成自治会への働きかけをお願いし、手の上がった自治会に対して区職員が出向いて説明会を開いてきた。また、自治会長が集まる自治会長連絡会の場でも区から説明させてもらっている。今後もこのような形で継続して未結成自治会に対してアプローチしていきたい。

今年度は中野山コミ協で避難所(シルバーピア石山)の運営訓練を実施した。その後、中野山・南中野山コミ協が主体となった避難所運営訓練も実施した。H22年度はこれまでよりもワンランク上のレベルの訓練に取り組んでいきたいと考えている。

Q：東区内の自主防災組織結成状況(結成率)を継続的に発表していく予定はあるのか。

A：自主防災組織結成率の数字については四半期ごとにまとまっており、公表することは特に問題ないと思う。ホームページ等への掲載についても本庁所管課へ要請可能である。

Q：自主防災組織の訓練実施状況も併せて掲載できないか。

A：本庁では訓練実施状況の統計までは取っていないので、市のホームページへの掲載はできないが、東区単独の数字ならば、機会をとらえてそれらの数値をお示ししていくことは可能である。

自主防災組織に関連したその他意見

コミ協単位での自主防災組訓練も必要ではあるが、いざ災害という時には、個々の自治会・町内会単位での自主防災組織が機能するのだという点をよく認識しておくべきだ。

自主防災組織での活動は、助成金で防災物資を買い揃えるために実施しているのではないかとさえ思うことがある。

助成金の使途が防災物資の購入などに限定されているから、そのようにならざるを得ない状況なのではないか。全市的に自主防災活動への助成制度をもっと使い勝手のよいものになるよう検討してみてもどうか。

市営・県営アパートでの自主防災組織結成が難航している。行政からの指導が必要。市営住宅の火災報知機設置についてはどこが付けるのか。区の建設課で設置することになる。

区総務課からの今後の第 1 部会における検討テーマについて

今年度、中野山・南中野山コミ協で実施した避難所の運営訓練について、他のコミ協でも取上げていただきたい。

今後の第 1 部会における検討テーマについて

今後の部会で取上げたい検討テーマについて各委員から発言してもらいました。

自治会体制の強化、自治会とコミ協について更に議論してはどうか。

地域の活性化に向けた集会場の確保をテーマにしたい。

防災に関する環境整備(地域の避難所への誘導案内板の設置や災害物資の保管等)について検討していきたい。

地域での拍子木による夜回り等を実施することで安心感を持ってもらうなど、特に障害者・独居老人等への安心安全対策について議論してはどうか。

子ども達が喜んで参加できる町内のイベントなどが減ってきているように感じる。

自治・町内会への理解・認識を高めることについて検討してはどうか。

県立大学と連携したコミュニティカレッジの実施をテーマに取上げたい。

コミ協の集会場の確保について取り上げたい。

設立から 3 年が経過する区自治協議会の課題整理・総括をしてはどうか。

以上の中から絞込みをかけて、「防災に関する環境整備について」を検討テーマとして最優先し、「区自治協議会の課題整理・総括について」を次点検討テーマとしました。

次回について

避難所運営マニュアル案(区総務課作成)について検討を加えることにしました。

「防災に関する環境整備について」は次々回以降の部会で議論する予定です。

次回の開催について

- ・ 日時：平成 22 年 1 月 15 日（金） 午前 10 時～
- ・ 場所：中地区公民館 第 1 集会室